

富戸っ子

第7号
令和3年9月28日
伊東市立富戸小学校

◆「読書」のすすめ (10月27日から11月9日は、読書週間)

「好奇心旺盛な人」それは「もっと深く知りたい、自分の知らない世界に触れたい」という気持ちをもって、新しい価値観や文化を学べる人だと思います。しかし、知らないことをネット検索するとき人は「自分の知っている限られた言葉の中」で検索します。

日本人が「藍色」と「紺色」の違いを楽しむことができるのは、それぞれの色を表す言葉を知っているからです。藍色や紺色という言葉をもたない人は、両方とも「青」としか認知することができません。

そこで、女優の上白石萌音さんがお薦めする「翻訳できない世界のことば」を紹介します。日本語の「木漏れ日」という言葉は他の国では翻訳できません。逆に日本語にはない言葉、例えばタガログ語で「K I L I G (キリグ)」という言葉があります。この意味は「おなかの中に蝶が舞っている気分」大切な人と一緒にいるときの感覚に使われるそうです。日本語を中心として話している私たちにとっては「認知することができない事柄」がこんなにたくさんあるということを教えてくれる1冊です。これを読んで「自分の殻」を破ったら、もっともっと広い世界を知ることができると思います。

子供は、「読書は大切だ」と思いつつも、日頃の慌ただしい生活の中で改めて読書の時間を確保するのは難しいのが現状だと思います。

富戸小学校では、10月に読書週間を設定しています。短い時間の朝の読書時間。しかし、1週間行くとまとまった時間になります。「塵も積もれば山となる」の言葉通り、まとまった本を読み終えることができると思います。ぜひ心に栄養を与える読書タイムにしてほしいと思います。

☆わくわくタイム(読み聞かせ)が行われました☆



1年【きみにありがとうのおくりもの】



2年【いなかのねずみとまちのねずみ】



3年【オレンジ色のペンギン】



4年【あのときすきになったよ】



5年【100万回生きたねこ】



6年【んまわし】

◆大雨、暴風等の警報への対応について◆

伊東市内小中学校では、午前6時時点で大雨、暴風等の警報発令されているかによって登校・自宅待機となります。しかし、6時以降に警報が発令され、大雨で登校が困難になったケースは、6時以降に警報が発令された場合も、原則として自宅待機をお願いします。

ただし、警報が発令させる時間によっては、学校からのメールが間に合わず、すでに家を出て登校しているケースも考えられます。登校した児童は学校で待機させ、気象状況によってその後の対応を考えます。また、警報が出ていなくても、天候や地域の状況から登校が危険だと判断した場合は、無理をせず、自宅待機をしてください。その場合は、必ずその旨を学校に御連絡をしてください。その場合は、遅刻、欠席扱いになりません。